

活動予定カレンダー

TKC SCHEDULE

令和4年 12月		令和5年 1月		令和5年 2月	
日	曜	日	曜	日	曜
1	木	1	日	1	水
2	金	2	月	2	木
3	土	3	火	3	金
4	日	4	水	4	土
5	月	5	木	5	日
6	火	6	金	6	月
7	水	7	土	7	火
8	木	8	日	8	水
9	金	9	月	9	木
10	土	10	火	10	金
11	日	11	水	11	土
12	月	12	木	12	日
13	火	13	金	13	月
14	水	14	土	14	火
15	木	15	日	15	水
16	金	16	月	16	木
17	土	17	火	17	金
18	日	18	水	18	土
19	月	19	木	19	日
20	火	20	金	20	月
21	水	21	土	21	火
22	木	22	日	22	水
23	金	23	月	23	木
24	土	24	火	24	金
25	日	25	水	25	土
26	月	26	木	26	日
27	火	27	金	27	月
28	水	28	土	28	火
29	木	29	日		
30	金	30	月		
31	土	31	火		

※新型コロナウイルス対策のため、予定は変更となる可能性があります。

TKC北海道

かいほう

2022.11.10
第247号



Chance, Change and Challenge
TKC HOKKAIDO

TKC北海道会広報委員会

札幌市中央区北3条西3丁目1大同生命札幌ビル13階
TEL (011) 222-8505 FAX (011) 222-8622
http://www.tkc.jp/hokkaido



発行責任者/田中 裕之 編集責任者/坂本 文彦 印刷所/株式会社メディアプラネット



10 Future Heroes



CONTENTS

●TKC北海道会創設50周年記念行事 記念式典……………02	●令和4年書面添付実践件数……………36
記念講演 パネルディスカッション……………06	●リレーエッセイ「時・空・人」……………38
感謝のタペ……………09	●令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿が 掲載されています……………39
TKC北海道会 50周年記念ゴルフ……………12	●令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿を ProFITに掲載しました……………40
●年度重要テーマ研修が開催されました。……………13	●令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿……………43
●早期経営改善計画策定支援NEWS……………15	●あの人は今……………44
●モニタリング情報サービスNEWS……………16	●帰ってきた けんたの業務日誌……………45
●道内金融機関MIS対応状況一覧表……………18	●北海道会 会務動向……………47
●TKC北海道会 第50回定期総会が開催されました……………19	●令和4年10月 株式会社TKCの支援体制……………48
●中小機構北海道本部インフォメーション……………20	●編集後記……………49
●支部例会・研修会だより……………22	●活動予定カレンダー……………50
●リスマネ情報交換会(旭川)開催される……………30	
●リスマネ情報交換会(帯広)開催される……………32	
●リスマネ情報交換会(札幌)開催される……………33	
●第9回リスマネキャンペーンのご案内……………34	
●TKC北海道会リスマネ指導報告書提出キャンペーン……………35	

eひと・eはなし

札幌西支部/河村 聡子……………21
TKC北海道会事務局/杉若 敦巳……………46

記念式典

TKC北海道会 創設50周年

過去と未来への責任

～これまでの歩みとこれから目指すもの～

TKC北海道会の創設50周年記念式典が、9月8日(木)午後2時から、ロイトン札幌およびWeb視聴で開催された。

式典会場には、政界や北海道税理士会はじめ金融機関、提携・協定企業、株式会社TKC関係者等から多数の来賓者と、200名近くの会員や職員が参加した。会場では、出入口でのアルコール消毒や、座席の間隔を空け座席を指定する等、コロナ感染対策を講じていた。Webでは30事務所を超える会員が視聴した。

田中会長

「本日は深く感謝し、未来へ決意する日」

式典の冒頭、司会でフリーアナウンサーの仁科美咲さんから、北海道会の創立当時の状況が紹介された後、田中裕之TKC北海道会会長が開会あいさつに登壇した。

田中会長は、まず、飯塚毅TKC全国会名誉会長の講演に感銘し、その熱き理念に共感された4名



フリーアナウンサー 仁科美咲さん



田中裕之TKC北海道会会長

で、TKC帯広会と称してスタート。翌年(昭和47年)10名でTKC北海道会が結成され、さらに2年後には会員数が100名を超え、北海道に計算センターが開設されたことを紹介し、先達会員の情熱あふれる行動力に敬意を表し、その心意気をしっかりと受け止めて将来に期していきたいと述べた。

続いて、今年策定された、TKC全国会の運動方針「未来に挑戦するTKC会計人～巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう!」を踏まえ、一人ひとりの会員が「オールTKC方式」で業務を力強く推進することで、事務所の経営基盤を強化し、TKCブランドを確立することが、北海道会の究極の目標である「運命打開」と「職域防衛」の具現化になると語った。

そして最後に、この50年の歩みでお世話になった多くの方々に深く感謝を申し上げますと共に、本日を新たな50年への決意の日にしたいと述べ、開会あいさつを終えた。

坂本会長

「歴史に誇りを持ち、今後もブレずに実践を」

続いて、来賓あいさつとなった。まず、藤原誉康北海道税理士会副会長が、ご尊父がTKC会員で、幼き頃電子計算機の紙テープで遊んでいた思い出を語りつつ、TKCが常に時代を先取りしながら関与先の中小企業を支え、地域経済の発展に寄与してきた歴史に敬意を表すると述べた。



藤原誉康北海道税理士会副会長

次に、坂本孝司TKC全国会会長が、全国会と北海道会の50年の歴史における関わりについて、書面添付の実践、継続MASの取り組み、FX2の導入・推進の事例を紹介しながら、「北海道会は、常に全国会の近未来の姿・あり方を示してきた。誇りを持ってほしい。そして後継者である皆さんが、その歴史と理念を受け継ぎ、今後もブレずに実践・努力をしていくことが重要だ」と激励した。



坂本孝司TKC全国会会長

株式会社TKCの飯塚真規代表取締役社長からは、「北海道会の創立年は、札幌オリンピック開催の年。経済発展の一番勢いがあった年。その後、バブル崩壊、失われた30年と経ってきたが、常に時代の先頭に立ちながら、関与先の黒字決算・適正申告と納税を目指してきた50年の歴史に触れ、株式会社TKCとして感謝を申し上げますと共に敬意を表します」と述べ、「今後も凄まじい勢いで変化していく時代に、株式会社TKCとしても迅速に充分に対応し、皆さんのサポートに徹していきたい」と話した。



株式会社TKC 飯塚真規代表取締役社長

50年の歴史を語る歴代会長ビデオ

午後2時35分、場内が暗転し、ビデオが上映された。歴代北海道会会長が創設50周年に寄せて、自身が会長職に任じていた時の心構えや基本方針、重点的に取り組んできたこと、そして今後の北海道会に対する想いや期待を語った。

ビデオに登場したのは、五十嵐勝義第3代会長(昭和56年7月～平成3年6月)、戸井敏夫第4代会長(平成3年7月～同10年6月)、千葉寛樹第5代会長(平成10年7月～同14年6月)、藤田時人第6代会長(平成14年7月～同21年6月)、加藤恵一郎第7代会長(平成21年7月～同29年6月)の6名。

インタビューと収録は、6月2日(木)、歴代会長が一堂に集い、現役の正副会長が聞き手になって



左から、上田宣政会員、加藤恵一郎第7代会長、藤田時人第6代会長、千葉寛樹第5代会長、戸井敏夫第4代会長、田中裕之現会長

行われたもの。画面では、手振りを交え、当時の想いを込めて語る歴代会長の顔がズームアップされたり、語る内容に合わせた当時の様子を示す写真等が映し出され、当事者が語る北海道会の50年の歩みに、会場の参加者は食い入るように見ている。

歴代会長のビデオが終了すると、感謝状の贈呈となった。

まず、歴代会長の6名に感謝状と記念品が贈られた。続いて、TKC北海道センター開設(昭和49年11月)前に入会した先達会員を代表して、上田宣政会員(苫小牧支部)らに感謝状と記念品を贈呈。さらに、TKC入会40年以上で北海道会の役員等を歴任し、現在も全国会バッジ会員として活躍されている会員にも、感謝状と記念品が贈られた。

未来への飛翔を語る若手会員ビデオ

再び、場内が暗転。今度は、若手会員によるメッセージビデオが写し出された。各支部を代表する若手会員が次々に登場し、日常業務の様子や北の大地を駆け出していく姿、海に向かって飛び上がる姿など、未来に向かって躍動する決意を画面一杯に示す。そして上映終了と同時に、ビデオに登場した若手会員全員が登壇した。



谷本諒会員(帯広支部)



若手会員

代表して、谷本諒会員(帯広支部)がマイクを手にした。谷本会員は、北海道会の第1号会員だった故・谷本宏会員の孫で、事務所の3代目。谷本会員は、お爺様から直接聞き取りした、入会の経緯や草創期の様子を紹介しながら、「TKC北海道会・全国会が掲げる、自利利他の精神に基づく血縁的集団を形成してきた先達会員に感謝をすると共に、われら若手会員は未来への責任を痛感する。激動の時代を迎え、なお一層団結して、北海道会が目指す理想・目標に向かって邁進していくことを誓う」と決意を語った。

式典の最後は、本間貴久実行委員長が、創設50周年記念事業のテーマである「過去と未来への責任」について、「歩み続けていることが重要であり、素晴らしき過去の歴史を築いてきた先達会員や関係各位に感謝し、われらは未来に向かって、職域を防衛し運命を打開するために、変化を恐れない組織になることを宣言する」と、閉会のあいさつを述べた。

(広報委員会 岡崎 正毅)



本間貴久実行委員長



式典会場 ロイトン札幌



式典の様子

記念講演 パネルディスカッション

記念式典の後、坂本孝司TKC全国会会長、飯塚真規株式会社TKC代表取締役社長、田中裕之TKC北海道会会長の3名をパネリストに迎え、加藤恵一郎TKC全国会副会長をコーディネーターとして、「TKC全国会 × TKC北海道会 これまでの歩みとこれから目指すもの」と題した記念講演が催されました。4名の豪華な顔ぶれを前に、会場一同がその一言一句に耳を傾けました。

坂本会長は、コロナ禍における実務がままならない環境の下でも、巡回監査率や自計化率、MISの推進率などのパフォーマンスを維持向上させてきたTKC会員やそのサポートに従事してきたSCGらに

ねぎらいの言葉を発すると共に、これからもさらなる向上を目指してほしいとの激励の言葉も述べられました。坂本会長は若かりし頃、飯塚毅初代会長から受けた薫陶を忘れることなく今まで精進してきたことなど、飯塚毅初代会長とのエピソードや電子帳簿保存法の改正の経緯なども語っていただきました。

飯塚社長は、幼い頃の「祖父としての飯塚毅」の在りし日の姿を語っていただきました。おそらく会場中の誰もが初めて耳にするエピソードだったと思われます。われわれの想像していた厳格な研究者としての人物像であった反面、人間味のある話も聞いたことは大変貴重でした。さらに飯塚社長



坂本孝司TKC全国会会長



田中裕之TKC北海道会会長



株式会社TKC 飯塚真規代表取締役社長



加藤恵一郎TKC全国会副会長

は、TKCシステムがなぜ遡及訂正ができない仕組みであるのかについて言及しておりました。「遡及訂正が可能である仕組みは過去のデータ改ざんも可能である仕組みである。さまざまな文書偽造や改ざん等が世間を騒がせている昨今、遡及訂正ができない仕組みこそ会計帳簿の信頼性の担保である」と熱く語っておられました。

田中会長は、飯塚毅初代会長との直接的な接点はお持ちにならないと発言しつつも、坂本会長をはじめ飯塚毅初代会長の教えを享受してこられた先達たちからの理想を継承し、地域会のリーダーとしての目指すべき姿を語っていただきました。田中会長は、飯塚社長のTKCシステムのお話に言及し、「遡及訂正の不可と月次での数値の確定がわれわれ職業会計人の立場を確立させてくれているありがたい機能である」とし、「税理士という職業会計人を誇り高き職業にするため、さらなる業務水準の向上に努めたい」と述べておられました。

最後にわれわれ会員一同へメッセージを頂戴しました。

坂本会長:税理士制度を高めてほしい。立法関係者、行政関係者、そして金融機関の理解を得るため、彼らとの交流を積極的に進めてほしい。

飯塚社長:TKCシステムは年末のTPS9000のリリースを皮切りに機能、デザインを大きく刷新していく予定である。そしてTKC全国会との連携をさらに強め、自計化支援の在り方を再考し全国のSCGへ指示していく。

田中会長:われわれを正しい方向に導いてくれたTKC全国会には感謝している。自身の事務所を発展させていきたいのであれば、積極的に会務に参加し、会務を通して税理士としての本質的な使命を理解してもらいたい。



講演の様子

感謝の夕べ

最後は加藤副会長が総括し、息をするのも忘れるくらいの濃密な90分間が閉幕しました。登壇された4名の熱い思いとこれからの展望など、貴重なお話の数々を拝聴することができました。

(広報委員 柳橋 琢磨)



会場の様子

記念式典、基調講演と滞りなく終了し、最後はご来賓の方々を交え総勢200名を超えるに及ぶ大規模な感謝の夕べが開催されました。

冒頭、田中裕之TKC北海道会会長が「このご時世にこのような盛大なる会を開催してもよいものか、直前まで悩んだ」と述べられました。

いまだ終息が見えないコロナ禍での大規模な交流会の開催を危惧していた様子でしたが、50周年という節目とTKC北海道会を立ち上げ、支えてこられた会員たち、提携協力企業、来賓の皆さまへの感謝の気持ちを形にしたいとの思いが開催への後押しになったのだと言葉の端々から伝わってまいりました。



田中裕之TKC北海道会会長



北海道知事 鈴木直道氏



衆議院議員 高木宏壽氏



衆議院議員 逢坂誠二氏



衆議院議員 中村裕之氏



衆議院議員 道下大樹氏



TKC東北会会長 中田庄吾氏



元TKC北海道センター長 佐藤臣氏



大同生命保険株式会社 加藤健治氏



日本政策金融公庫 芝田秀則氏

おそらく出席者の誰もがこのような大規模な会は数年ぶりであったことでしょう。感染防止対策を意識しながらも、つかの間の懇親をこころゆくまで堪能している様子でした。鈴木直道北海道知事をはじめ、これまでTKC北海道会と深く関わり、支えてくれた多くの来賓の方々からの祝賀のお言葉を頂戴し、われわれ会員一同も感謝と共にこれからのTKC北海道会の発展に尽くさねばならないという使命から大変身の引き締まる思いでありました。

さらにこの日のために特別に制作された記念動画が上映されました。明日のTKC北海道会を担う前途有望な若手税理士らの出演による躍動感の



フリーアナウンサーの仁科美咲さん(左)、林田敬二会員(右)

ある記念動画は、会場の空気をより一層高揚させておりました。

司会を務めた釧路支部の林田敬二会員とフリーアナウンサーの仁科美咲さんとの軽快なトークや、宮下直樹総務委員長のサプライズ演出も会場を大いに盛り上げました。

最後は本間貴久実行委員長の感謝のあいさつで、大盛況のうちに閉会となりました。

ここまでの規模の大きな会は久しぶりであったため、終始気持ちが高ぶっておりましたが、これだけの大人数を動員できるTKC北海道会の懐の大きさにも大変感銘を受けた一日でした。

(広報委員 柳橋 琢磨)



宮下直樹総務委員長(左)、杉若敦巳さん(右)



会場で流れた映像の様子

TKC北海道会 50周年記念ゴルフ

9月9日(金)千歳市にある、ザ・ノースカントリーゴルフクラブにてTKC北海道会50周年記念ゴルフが開催されました。

1組目が6時52分スタートということもあり早朝からとなりましたが、天候にも恵まれ、残暑厳しく気温も28度近くにも上る中、TKC全国会の坂本孝司会長や提携協定企業の皆さまも数多く参加され、総勢44人でのゴルフ大会となりました。

コロナ禍ということもあり、開会式は行われず、各組時間に合わせたの順次スタート。ノースカントリーはセガサミーカップが開催されるコースで、池が多く難易度の高いコースでもあり、私は洗礼を浴びる結果となりましたが、前半50後半51の101で何とか終わることができました。また機会がありましたら、ぜひ挑戦したいです。

ラウンド後は、コンペルームでの表彰式が行われ、佐藤伸泰会員による司会の下、ドラコンやニアピン、飛び賞、各順位賞の発表がありました。提携協定企業やTKC北海道会正副会長会から賞品の提供もあり、大いに盛り上がりました。

栄えある優勝を飾ったのは函館支部の西谷裕幸会員、前半39後半45ハンディキャップ14.4、ネット69.6。ベストグロス北海道銀行の佐々木剛さん、前半40後半43ハンディキャップ12.0、ネット71.0の準優勝でした。ちなみに私は運よく飛び賞のある11位。TKC北海道会正副会長より海鮮ギフトをいただくことができました。参加して良かったです。

提携協定企業の皆さまとの親睦も深めることができ、TKC北海道会50周年記念ゴルフは無事閉会を迎えました。

(札幌東支部 佐藤 博嗣)

年度重要テーマ研修が開催されました。
～税理士の4大業務を実践しよう！

9月14日(水)に年度重要テーマ研修が、メイン会場を京王プラザホテル札幌、サテライト会場を5カ所、そして事務所等で直接視聴するWeb配信というハイブリッド型の研修会として320名を超える受講者での開催となりました。

研修会のテーマは、令和4年からのTKC全国会の運動方針と同じ「未来に挑戦するTKC会計人～巡回監査を断行し、企業の黒字決算と適正申告を支援しよう!」です。



田中裕之TKC北海道会会長

冒頭、坂本孝司TKC全国会会長のビデオメッセージが上映されました。

坂本会長からは、TKC全国会の運動方針や社会から寄せられている税理士への期待などの話があり、そして日本の将来はTKC会計人にかかっているという熱いメッセージをいただき、研修会は始まりました。

第1部は、税理士法人植松会計事務所の植松知幸会員(TKC東北会)を迎え、「わが事務所の未来への挑戦～当たり前のことを、繰り返し繰り返し」と題しての講演でした。

植松会員は、その話の中で「当たり前のことを繰り返し実行する」「小さな変化の積み重ねが大きな変革になる」ということを強調し、短期的な成果ではなく、ある程度の期間で成果を考えることの重要性が伝わってきました。例えば、「月次巡回監査を徹底する」と決めてから5年の月日を要しましたが、巡回監査率90%超を達成できたとのことでした。

そして、今後はさらなる一気通貫で業務品質向上・高付加価値経営を目指すということでした。平成30年の5つ星企業数が全国1位の事務所です。既に素晴らしい成果のある事務所が、このようにさらなる向上心をもって業務に取り組む決意を目の当たりにして、私自身、身の引き締まる思いがしました。



TKC東北会 植松知幸会員

第2部は、吉田幸広システム委員長を講師として「インボイス制度とDX」と題しての講演でした。

主な内容は、令和5年10月からのインボイス制度の開始に伴うTKCシステムの対応について解説でした。FXシリーズの対応状況は万全なことがわかり、安心して関与先の皆さまもFXシリーズを利用していただけるとも確認できました。



吉田幸広システム委員長

第3部は、吉田システム委員長、蝦名和広巡回監査・事務所経営副委員長、澤田忠宏書面添付推進委員長および市川善明中小企業支援委員長の4名がパネリスト、私がコーディネーターを務め、「会計事務所経営レポート～成長発展する事務所の未来像を探る～」と題してのトークセッションが行われました。

今年、会員向けに行ったアンケートを踏まえて、「自計化の推進が事務所経営に与える影響」「新規顧問先の開拓方法」など5つのテーマでディスカッションをしました。



パネリストの皆さん

左から、吉田幸広システム委員長、蝦名和広巡回監査・事務所経営副委員長、澤田忠宏書面添付推進委員長、市川善明中小企業支援委員長



コーディネーター 菅野浩北海道研修所長

コーディネーター役の私の進行が稚拙でしたので、受講された皆さんに上手く伝わらなかった部分もあったと思いますが、私たちが伝えなかったことは、「まずは自計化の推進と月次巡回監査の断行、これに取り組むことで書面添付の推進や中小企業支援につながる」ということです。

今回の研修を通じて一人でも多くの会員・職員が、研修会冒頭の坂本会長のメッセージに応え、税理士の4大業務(税務・会計・保証・経営助言)を実践してほしいと考えています。皆さん、頑張ってください!!

(北海道研修所長 菅野 浩)

TKC北海道会 会員各位

平成29年5月29日より早期経営改善計画策定支援が開始されました。当事業は、中小企業や小規模企業が、認定支援機関の支援を受けて、経営改善計画を策定し、金融機関に提出することで自己の経営の見直しと早期の経営改善を促すものです。認定支援機関の使命として、当事業を積極的に実践することで、関与先の業績管理体制を整えていきましょう。

TKC北海道会では、全認定支援機関登録事務所が、当事業を実践することを目指して活動します。その一環として、早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧を定期的に会員事務所へ発信いたします。是非、取り組みを開始しましょう!

TKC北海道会 会長 田中 裕之

早期経営改善計画策定支援実践事務所一覧

[令和4年9月30日現在・順不同・敬称略]

No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名	No	支部	事務所所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川 善明	29	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村 新太郎
2	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治	30	札幌西	札幌市西区	山田めぐみ税理士事務所	山田 めぐみ
3	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史	31	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
4	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美	32	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
5	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤 恵一郎	33	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
6	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二	34	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
7	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫	35	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
8	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰	36	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
9	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純	37	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
10	札幌東	札幌市白石区	アース税理士法人	谷口 和雅	38	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
11	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉	39	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
12	札幌東	札幌市白石区	中川信喜税理士事務所	中川 信喜	40	旭川	旭川市	ふたば税理士法人	西 康子
13	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴	41	旭川	旭川市	税理士法人たいせつ	渡辺 亨
14	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人	42	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
15	札幌東	札幌市北区	藤本康男税理士事務所	藤本 康男	43	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章
16	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久	44	北見	網走市	税理士法人オホーツクネクスト経営会計	南都 正弘
17	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビシャス・パートナーズ	森下 浩	45	空知	滝川市	大林強税理士事務所	大林 強
18	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生	46	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤 恵美子
19	札幌東	札幌市中央区	吉田聡税理士事務所	吉田 聡	47	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
20	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太	48	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
21	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広	49	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
22	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀	50	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
23	札幌西	札幌市中央区	税理士法人高橋会計事務所	大館 政男	51	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
24	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也	52	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
25	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸	53	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
26	札幌西	札幌市中央区	アウル税理士法人	鈴木 康弘	54	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
27	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之	55	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
28	札幌西	札幌市中央区	戸井正人税理士事務所	戸井 正人	56	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介

1. 事務所名掲載の条件

- (1) ProFITの「利用申請受理通知」の報告を実施していること。
- (2) 「利用申請受理通知」の報告にて「TKC会報の実践事務所一覧への掲載」及び「TKC全国会HPの実践事務所一覧への事務所名掲載」を承諾していること。

※事務所名掲載を希望されない場合は、ProFITにて承諾にチェックを入れないようにしてください。

2. 当資料は、前週の金曜日に集計し毎週月曜日に発信させていただきます。

1. TKCモニタリング情報サービス採用金融機関

■北海道内金融機関■

1 北海道銀行	8 空知信用金庫	15 北星信用金庫	22 日高信用金庫
2 北洋銀行	9 北門信用金庫	16 空知商工信用組合	23 室蘭信用金庫
3 道南うみ街信用金庫	10 稚内信用金庫	17 釧路信用金庫	24 留萌信用金庫
4 北海道信用金庫	11 帯広信用金庫	18 十勝信用組合	25 遠軽信用金庫
5 苫小牧信用金庫	12 北見信用金庫	19 大地みらい信用金庫	26 十勝清水町農業協同組合
6 旭川信用金庫	13 渡島信用金庫	20 釧路信用組合	27 伊達信用金庫
7 北空知信用金庫	14 網走信用金庫	21 北央信用組合	28 札幌中央信用組合

■都市銀行等■

1 三菱UFJ銀行	5 商工組合中央金庫
2 りそな銀行	6 日本政策金融公庫
3 三井住友銀行	7 北海道信用保証協会
4 楽天銀行	8 みずほ銀行

■道内に支店がある他県の金融機関■

1 北陸銀行	5 スルガ銀行
2 みちのく銀行	6 七十七銀行
3 秋田銀行	7 青森銀行
4 第四銀行	



2. TKCモニタリング情報サービス積極推進事務所

No	支部	所在地	事務所名	会員名
1	札幌東	札幌市東区	あらい税理士事務所	荒井 利幸
2	札幌東	札幌市東区	税理士法人五十嵐会計事務所	五十嵐勝義
3	札幌東	札幌市東区	市川会計事務所	市川 善明
4	札幌東	札幌市中央区	税理士岩崎公治事務所	岩崎 公治
5	札幌東	札幌市豊平区	岩田税理士・社労士事務所	岩田 圭史
6	札幌東	札幌市東区	岩本敏美税理士事務所	岩本 敏美
7	札幌東	札幌市豊平区	大林慎一税理士事務所	大林 慎一
8	札幌東	札幌市中央区	税理士法人加藤会計事務所	加藤恵一郎
9	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人金坂会計事務所	金坂 和正
10	札幌東	札幌市厚別区	あすか税理士法人	川股 修二
11	札幌東	札幌市東区	桑子武将税理士事務所	桑子 武将
12	札幌東	札幌市北区	公認会計士小島史資事務所	小島 史資
13	札幌東	札幌市白石区	小平康夫税理士事務所	小平 康夫
14	札幌東	札幌市東区	小林崇税理士事務所	小林 崇
15	札幌東	札幌市白石区	斎藤雅昭税理士事務所	斎藤 雅昭
16	札幌東	札幌市豊平区	坂本文彦税理士事務所	坂本 文彦
17	札幌東	札幌市北区	税理士法人日本アシスト会計	佐々木忠則
18	札幌東	札幌市北区	税理士法人アカシヤ総合事務所	佐々木俊幸
19	札幌東	札幌市中央区	佐藤敏明税理士事務所	佐藤 敏明
20	札幌東	札幌市中央区	札幌あおい税理士法人	佐藤 伸泰
21	札幌東	札幌市中央区	佐藤博嗣税理士事務所	佐藤 博嗣
22	札幌東	札幌市豊平区	鈴木久欣税理士事務所	鈴木 久欣
23	札幌東	札幌市白石区	清宮純税理士事務所	清宮 純
24	札幌東	札幌市北区	税理士法人しらかば総合会計事務所	田中 慎也
25	札幌東	札幌市白石区	アース税理士法人	谷口 和雅
26	札幌東	札幌市豊平区	税理士法人アグス平岸事務所	千葉 寛樹
27	札幌東	札幌市豊平区	BDO税理士法人 札幌事務所	出口 秀樹
28	札幌東	札幌市東区	寺田勉税理士事務所	寺田 勉
29	札幌東	札幌市南区	中川一俊税理士事務所	中川 一俊
30	札幌東	札幌市白石区	税理士法人中川会計	中川 信喜
31	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人エンカレッジ中田事務所	中田 浩貴
32	札幌東	札幌市東区	名越税務会計事務所	名越 隆雄
33	札幌東	札幌市白石区	西原昇一税理士事務所	西原 昇一
34	札幌東	札幌市北区	税理士法人札幌北会計事務所	能登 康広
35	札幌東	札幌市南区	原幸四郎税理士事務所	原 幸四郎
36	札幌東	札幌市北区	税理士法人ひづめ会計	樋爪 昌之
37	札幌東	札幌市東区	FUJITA税理士法人	藤田 時人
38	札幌東	札幌市東区	税理士法人本間会計事務所	本間 貴久
39	札幌東	札幌市中央区	税理士法人アグス大通事務所	松本 隆臣
40	札幌東	札幌市中央区	丸山昭一税理士事務所	丸山 昭一
41	札幌東	札幌市豊平区	南優香税理士事務所	南 優香
42	札幌東	札幌市北区	宮下直樹税理士事務所	宮下 直樹
43	札幌東	札幌市厚別区	税理士法人アンビジャス・パートナーズ	森下 浩
44	札幌東	札幌市北区	柳川会計事務所	柳川 英樹
45	札幌東	札幌市中央区	RITA税理士法人	山美 幹生
46	札幌東	札幌市南区	米澤篤志税理士事務所	米澤 篤志
47	札幌西	札幌市中央区	中央財務税理士法人	安倍 亨
48	札幌西	札幌市中央区	税理士法人さっぽろ税務会計	阿部 真澄
49	札幌西	札幌市中央区	税理士法人池脇会計事務所	池脇 竜太
50	札幌西	札幌市中央区	石川透税理士事務所	石川 透
51	札幌西	札幌市中央区	板倉圭吾税理士事務所	板倉 圭吾
52	札幌西	札幌市中央区	上原貢税理士事務所	上原 貢
53	札幌西	札幌市西区	Aimパートナーズ総合会計事務所	蝦名 和広
54	札幌西	札幌市中央区	税理士法人エンカレッジ	遠藤 成紀

No	支部	所在地	事務所名	会員名
55	札幌西	札幌市中央区	岡崎正毅税理士事務所	岡崎 正毅
56	札幌西	札幌市中央区	朝日税理士法人	小川 裕也
57	札幌西	札幌市中央区	税理士法人川井会計	川井 一男
58	札幌西	札幌市中央区	小中昌幸税理士事務所	小中 昌幸
59	札幌西	札幌市中央区	齋藤豊税理士事務所	齋藤 豊
60	札幌西	札幌市手稲区	佐藤寿志税理士事務所	佐藤 寿志
61	札幌西	札幌市中央区	杉村弘幸税理士事務所	杉村 弘幸
62	札幌西	札幌市中央区	税理士法人レアール	鈴江 誠
63	札幌西	札幌市中央区	税理士法人春野会計事務所	竹中 正美
64	札幌西	札幌市中央区	税理士法人田中会計事務所	田中 裕之
65	札幌西	札幌市中央区	中川雄介税理士事務所	中川 雄介
66	札幌西	札幌市中央区	税理士法人常見会計	中村新太郎
67	札幌西	札幌市中央区	はちもり会計事務所	八森 恵一
68	札幌西	札幌市中央区	平田清悦税理士事務所	平田 清悦
69	札幌西	札幌市中央区	堀内信吾税理士事務所	堀内 信吾
70	札幌西	札幌市中央区	税理士法人あかり会計堀内	堀内鶴次郎
71	札幌西	札幌市中央区	スズ力税理士法人	松本 剛明
72	札幌西	札幌市中央区	三上税務会計事務所	三上 香織
73	札幌西	札幌市西区	税理士法人共栄会計	宮崎 知行
74	札幌西	札幌市中央区	柳橋税務会計事務所	柳橋 琢磨
75	札幌西	札幌市中央区	八島依子税理士事務所	八島 依子
76	札幌西	札幌市中央区	税理士法人すずらん総合マネジメント	山谷 謙太
77	札幌西	札幌市西区	米倉弘之税理士事務所	米倉 弘之
78	小樽	小樽市	澤田忠宏税理士事務所	澤田 忠宏
79	小樽	小樽市	税理士法人中央会計事務所	杉下 清次
80	小樽	小樽市	戸井三雄税理士事務所	戸井 三雄
81	小樽	岩内郡岩内町	西正則税理士事務所	西 正則
82	小樽	虻田郡倶知安町	税理士法人アームズ会計社	藪内 英利
83	函館	函館市	大原章敬税理士事務所	大原 章敬
84	函館	函館市	奥山昌弘税理士事務所	奥山 昌弘
85	函館	函館市	長田栄吾税理士事務所	長田 栄吾
86	函館	函館市	税理士法人西谷会計事務所	西谷 裕幸
87	函館	函館市	野呂豊税理士事務所	野呂 豊
88	函館	函館市	税理士法人アグス函館事務所	蛭子貞真市
89	函館	北斗市	細川拓厚税理士事務所	細川 拓厚
90	函館	茅部郡森町	松山高治税理士事務所	松山 高治
91	苫小牧	苫小牧市	あすか税理士法人	石田 政士
92	苫小牧	苫小牧市	猪股冬樹税理士事務所	猪股 冬樹
93	苫小牧	室蘭市	駒井桂何税理士事務所	駒井 桂何
94	苫小牧	登別市	柴山徳雄税理士事務所	柴山 徳雄
95	苫小牧	苫小牧市	本野博之税理士事務所	本野 博之
96	苫小牧	苫小牧市	湯谷和彦税理士事務所	湯谷 和彦
97	帯広	帯広市	税理士法人FPC	井上 理
98	帯広	帯広市	梅田勇税理士事務所	梅田 勇
99	帯広	帯広市	税理士法人FPC	大平 渉

No	支部	所在地	事務所名	会員名
100	帯広	帯広市	税理士法人あおぞら会計事務所	河合 敏
101	帯広	広尾郡広尾町	木下利夫税理士事務所	木下 利夫
102	帯広	帯広市	来海会計事務所	来海 有起
103	帯広	帯広市	佐藤信祐税理士事務所	佐藤 信祐
104	帯広	帯広市	税理士法人きずな会計事務所	白岩 征之
105	帯広	中川郡本別町	砂原会計事務所	砂原 政広
106	帯広	帯広市	関税理士事務所	関 有紀子
107	帯広	帯広市	税理士法人竹川会計事務所	竹川 博之
108	帯広	帯広市	谷本会計事務所	谷本 倍規
109	帯広	河東郡音更町	てるい会計事務所	照井 直樹
110	帯広	帯広市	朝日税理士法人帯広事務所	東城 敬貴
111	帯広	帯広市	中井会計事務所	中井 宏
112	帯広	河西郡芽室町	長田勇一税理士事務所	長田 勇一
113	帯広	帯広市	干場慎也税理士事務所	干場 慎也
114	帯広	帯広市	松田孝志税理士事務所	松田 孝志
115	釧路	厚岸郡厚岸町	池田治税理士事務所	池田 治
116	釧路	釧路市	伊藤文彦税理士事務所	伊藤 文彦
117	釧路	釧路市	税理士法人トップマネジメント	甲賀 伸彦
118	釧路	釧路市	税理士法人タックス総合経営研究所	近藤 康範
119	釧路	釧路市	鈴木圭介税理士事務所	鈴木 圭介
120	旭川	旭川市	税理士法人薄井会計	薄井タカ子
121	旭川	旭川市	税理士法人エール旭川	尾田 利雄
122	旭川	旭川市	金谷博光税理士事務所	金谷 博光
123	旭川	士別市	税理士法人神田税理士事務所	神田 将吾
124	旭川	深川市	税理士法人小島会計	小島 拓也
125	旭川	旭川市	朝日税理士法人旭川事務所	實吉 孝範
126	旭川	名寄市	税理士法人下田総合事務所	下田悦津夫
127	旭川	旭川市	税理士法人カムイ会計	高橋 慎吾
128	旭川	旭川市	多田陽平税理士事務所	多田 陽平
129	旭川	旭川市	藤井雄一郎税理士事務所	藤井雄一郎
130	旭川	旭川市	舟橋馨税理士事務所	舟橋 馨
131	旭川	旭川市	税理士法人北都会計	渡辺 祐吉
132	北見	紋別市	井山等税理士事務所	井山 等
133	北見	北見市	中島茂幸税理士事務所	中島 茂幸
134	北見	網走市	税理士法人オホツクネクスト経営会計	南都 正弘
135	北見	網走市	税理士法人北翔会計	藤原 誉康
136	北見	紋別市	渡邊直喜税理士事務所	渡邊 直喜
137	空知	岩見沢市	税理士法人TACS	木村 聡
138	空知	滝川市	斎藤恵美子税理士事務所	斎藤恵美子
139	空知	滝川市	税理士法人エルムパートナーズ	坂本 和繁
140	空知	滝川市	八幡税理士事務所	八幡 吉昭
141	空知	岩見沢市	税理士法人ひまわり	山田 和訓
142	稚内	稚内市	蝦名朗太税理士事務所	蝦名 朗太
143	稚内	稚内市	田村栄章税理士事務所	田村 栄章

道内金融機関MIS対応状況一覧表(10月14日現在)

TKC北海道会 第50回定期総会が開催されました ～北海道政経研究会 定期大会併催～

TKC北海道会会員 各位
TKC北海道会 会長 田中 裕之

行	金融機関名	区分	Web BAST 利用	MIS	決算書提供サービス 申込件数	月次試算表提供サービス 申込件数	支店数	1支店あたり 貸出件数	貸出件数※ に占める MIS割合	
1	北海道銀行	地銀	○	○	1,537	151	140	11.0	14,092	10.9%
2	北洋銀行	第二地銀	○	○	3,250	304	178	18.3	28,775	11.3%
3	北海道信用金庫	信用金庫	○	○	1,106	100	82	13.5	10,952	10.1%
4	室蘭信用金庫	信用金庫		○	103	3	25	4.1	2,082	4.9%
5	空知信用金庫	信用金庫	○	○	255	15	21	12.1	3,043	8.4%
6	苫小牧信用金庫	信用金庫	○	○	219	24	28	7.8	2,252	9.7%
7	北門信用金庫	信用金庫	○	○	273	51	25	10.9	2,134	12.8%
8	伊達信用金庫	信用金庫	○	○	39	1	7	5.6	1,010	3.9%
9	北空知信用金庫	信用金庫		○	112	31	12	9.3	907	12.3%
10	日高信用金庫	信用金庫		○	60	8	8	7.5	948	6.3%
11	渡島信用金庫	信用金庫		○	33	5	12	2.8	740	4.5%
12	道南うみ街信用金庫	信用金庫	○	○	84	14	20	4.2	2,235	3.8%
13	旭川信用金庫	信用金庫	○	○	404	46	42	9.6	5,682	7.1%
14	稚内信用金庫	信用金庫	○	○	129	22	24	5.4	1,649	7.8%
15	留萌信用金庫	信用金庫	○	○	193	15	16	12.1	2,114	9.1%
16	北星信用金庫	信用金庫	○	○	155	10	23	6.7	1,531	10.1%
17	帯広信用金庫	信用金庫	○	○	844	56	33	25.6	4,736	17.8%
18	釧路信用金庫	信用金庫	○	○	233	55	19	12.3	1,796	13.0%
19	大地みらい信用金庫	信用金庫		○	93	15	23	4.0	2,065	4.5%
20	北見信用金庫	信用金庫	○	○	241	34	36	6.7	3,702	6.5%
21	網走信用金庫	信用金庫	○	○	151	25	20	7.6	1,626	9.3%
22	遠軽信用金庫	信用金庫		○	82	6	23	3.6	590	13.9%
23	北央信用組合	信用組合	○	○	209	19	36	5.8		
24	札幌中央信用組合	信用組合		○	148	14	15	9.9		
25	空知商工信用組合	信用組合	○	○	141	33	10	14.1		
26	十勝信用組合	信用組合	○	○	152	9	8	19.0		
27	釧路信用組合	信用組合	○	○	62	10	11	5.6		
28	十勝清水町農業協同組合	その他		○	11	6	1	11.0		
29	北海道信用保証協会	保証協会	○	○	2,998	173	10	299.8	29,585	10.1%

※貸出件数は、各金融機関のディスクロージャーより転記しています。

1支店あたりのMIS申込件数は、北海道銀行、北洋銀行、北海道信用保証協会はじめ11金融機関において10件以上、貸出件数に占めるMIS割合は帯広信金はじめ10金融機関が10%以上となっています。MISの圧倒的な実践を行い、その結果、社会への納得を得られるようMISをさらに推進していきましょう!

9月22日(木)午後1時よりTKC北海道会第50回定期総会が開催されました。本年は、ホテルモントレエーデルホフ札幌と各事務所をつなぎ、ハイブリッドでの開催でした。

開催当日現在の会員数は440名であり、うち当日日本人出席(Web参加者含む)35名、事前に議決権行使書をご提出いただいた会員総数は272名となり、総会は成立した旨の報告がありました。

議事に先立ち、木村聡副会長から物故会員への黙祷が行われ、また、小中昌幸副会長からは新入会員19名の紹介が行われました。

続いて、田中裕之会長から「TKC全国会の運動方針に則って、今期も力強く活動していきたい」とあいさつがありました。引き続き、議長には札幌東支部加藤恵一郎会員が、議事録署名人に札幌東支部・佐藤博嗣会員、小樽支部・西正則会員の2名の会員が選出された後、審議が進められました。

第1号議案 令和3年度の事業報告並びに決算報告承認の件

第2号議案 令和4年度の事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件

これらについては、第1号議案は、宮下直樹総務委員長から、第2号議案は、委員長およびプロジェクトリーダーが議案書の説明を行いました。その中で、第2号議案について、寺田純子会員より、バッジ会員要件についての再確認とTKCプロジェクトの予算がなぜ減ったのか、との質問がありました。その後、いずれの議案についても事前に会員からお送りいただいた議決権行使書の多数に賛成の旨が記載されているとの説明があり、賛成多数により可決承認されました。

議案承認の後、最初に支部を代表して、空知支部の八幡吉昭支部長より事業報告、活動報告な

どがありました。DX化をにらんだ支部例会での研修会の開催事例、TKCプロジェクトの追い込み企画として実施したトリプルスリーキャンペーンについての報告がありました。

委員会報告は、遠藤成紀巡回監査・事務所経営委員長からMISの追い込みのお願い、市川善明中小企業支援委員長からはポストコロナの状況報告、澤田忠宏書面添付委員会委員長からは書面添付シンポジウム開催の案内、リスマネ委員会、TKC強化プロジェクトなどからの報告がありました。また、帯広支部より、来年度の秋季大学は、帯広で行うことが報告されました。

その後、本会表彰規程に基づく表彰者に対して、田中会長から表彰状と記念品が贈られました。それを受けて、表彰会員を代表して小樽支部西会員から感謝の言葉がありました。

最後に閉会のあいさつを甲賀伸彦副会長が行い、定期総会は大きなトラブルもなく無事に終了いたしました。

また、定期総会終了後、引き続き北海道政経研究会定期大会が加藤恵一郎会長、中川信喜幹事長の進行により同じくハイブリッドで開催されました。

定期大会についても、すべての議案に対し議決権行使書に賛成の旨の記載がされており、すべての議案が承認可決され滞りなく無事に終了いたしました。議案審議終了後、中川幹事長から、幹事長交代の審議を臨時大会(書面)により、行うことの報告がありました。

今回は、コロナ禍における措置として定期総会・定期大会がハイブリッド開催されました。来年は平時に戻り通常どおりの定期総会・定期大会が開催されることを願ってやみません。

(広報委員長 坂本 文彦)

中小機構北海道本部インフォメーション

事業再構築相談・助言（アドバイス）

「事業再構築相談・助言」事業では、新事業展開や事業転換など事業再構築の実現に向けて専門家が無料でアドバイスいたします。

対象者 ・事業再構築に取り組む中小企業・小規模事業者
 ・事業再構築補助金の採択を受けた中小企業・小規模事業者



北海道本部
 企業支援課 課長代理
 岩崎 清明香

◆事業再構築とは◆

- ①新分野展開 「新製品開発」や「新市場開拓」
- ②事業転換 「事業」を転換
- ③業種転換 「業種」を転換
- ④業態転換 「製造方法・提供方法」を変更
- ⑤事業再編 組織再編を通して「新分野展開」「事業転換」「業種転換」「業態転換」のいずれかを実施



※「事業」は日本産業分類の中・小・細分類、「業種」は日本産業分類の大分類

◆本事業の特徴◆

最適な**専門家**が

全国で1,000名を超える登録アドバイザーの中で貴社の課題解決に**最適な**専門家がアドバイス



最適な**方法**で

窓口相談だけでなく**オンライン**相談や**現地**を訪問してアドバイス



最適な**回数**で

貴社の経営課題に応じて、1回から**最大3回**まで**無料**でアドバイス



◆ご利用にあたってのお願い◆

- ▲ご利用は「1社・1度まで」となり、専門家やアドバイス回数は中小機構で判断いたします。
- ▲事業再構築補助金の申請その他手続きのアドバイスは行いません。
- ▲中小機構の支援が事業再構築補助金の審査結果に影響を及ぼすことはありません。
- ▲事業再構築補助金の採択を受けている場合にあつては、アドバイスの内容に関わらず、計画変更・目的外利用、取得財産処分、その他補助金の返納を要する事態になつても中小機構とアドバイザーはその責を一切負いません。

◆お問い合わせ先◆

中小機構北海道本部 企業支援部 企業支援課 011-210-7471



独立行政法人 中小企業基盤整備機構 北海道本部
 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西1-1-7
 中小機構 TEL 011-210-7470

中小機構は経済産業省所轄の独立行政法人です。企業の経営ステージに合わせた幅広いメニューで、中小企業・小規模事業者の成長を応援しています。



札幌西支部
 河村 聡子
 Satoko Kawamura

わが家には、4歳のわんぱく坊主と2歳のマイペース娘がおり、それぞれ幼稚園と保育園に通っています。どうしたら仕事も子育ても上手にこなせるのか、毎日悩まされています。

ここ2年はコロナ禍の影響を多大に受けており、濃厚接触者の規制が厳しかった少し前までは、濃厚接触者にノミネートされることもしょっちゅうで、ひどいときはほぼ1ヵ月登園できずに家にいることもありました。濃厚接触者に該当すると、幸いにも元気な子供達としばらく家にいなければなりません。

子供達がいる中での在宅勤務は、とてもハードです。これくらいはできるだろうと思う仕事量の3分の1もできません。「(毎日何やっているんだろう...)」と自己嫌悪に陥りかねませんので、3分の1でも仕事ができれば、よくやったと自分を褒める術を身に付けました。

お客さまと電話している最中に、「ねー、ママー!!」と大声で仕事部屋に入ってくる息子に、鬼の形相で「しーっ!!」とジャスチャーして

息子を追い返し、のちのち冷静になってみると、よくあんな顔ができたなと自分を振り返ってみたり。

エンドレスに好きな動画が続くYouTubeは、在宅勤務になくてはならない存在です。せめて英語の動画を見てね、とお願いしていますが、気づけばおもちゃ紹介の動画にどっぷり見入っています。

子供達が自主的にテレビを消すまで(つまり、大好きなテレビさえも飽きたということです)見尽くした後、童謡のげんこつやまのたぬきさんを大音量でかけ、まるでクラブミュージックをかけているかのようにノリノリで踊っている可愛い子供達を見ていると、本当に癒されます。が、疲れはそう簡単に吹き飛びません。

そんな経験を経て、子供が家にいるときに仕事はできない、という当たり前のことがわかりました。なので、今では少しでも仕事が進むと達成感を感じることができます。何より、子供達と一緒に過ごす時間が増え、日々の成長を見ることができるのは幸せです。

先輩の皆さま方は、仕事と子育ての両立をどのように対応されたのでしょうか？

教えていただけますと幸いです。



支部例会・研修会だより

FROM ASAHIKAWA, HAKODATE, TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, SORACHI



第50回定期総会開催

8月10日(水)、アートホテル旭川において、TKC北海道会旭川支部第50回定期総会が開催されました。来賓として、TKC北海道会田中裕之会長・木村聡副会長にご臨席いただき、会長からはTKC全国会の運動方針の説明と北海道会・旭川支部の現状、TKC北海道会創設50周年記念事業等についてのお話いただきました。

総会では、島田康弘支部長のあいさつの後、総会成立報告(会員38名中出席会員17名、委任状12名で総会成立)がなされ、議長には尾田利雄会員、議事録署名人には高橋慎吾会員が選ばれ、議事に入りました。



第1号議案 「令和3年度事業報告並びに収支決算承認に関する件」については、満場一致で承認されました。

第2号議案 「令和4年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認に関する件」につきましても満場一致で承認され、予定されていた議事については全て終了し、議長および議事録署名人が退任されました。



その後島田支部長より報告事項として、TKC北海道会創設50周年記念事業、年度重要テーマ研修会への出席要請があり、総会は終了しました。総会終了後、50周年記念誌に掲載される集合写真を撮影し、解散となりました。

総会の10日前まで懇親会を行うかどうか検討しましたが、旭川市が急激な感染拡大の状況でしたので取りやめとしました。早く普通に懇親会ができる日が来てほしいですね(私は、8ヵ月繁華街に出ていません)。

(旭川支部 舟橋 馨)





支部例会・研修会だより

FROM ASAHIKAWA, HAKODATE, TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, SORACHI



例会開催

9月14日(水)、アートホテル旭川において令和4年9月支部例会を開催しました。

当日は午後から「年度重要テーマ研修2022」が開催されることから、午前中に支部例会を開催すると出席率が向上すると見込んでいましたが、当日の出席会員は10名で出席率26%と寂しい例会となりました。

支部例会では、島田康弘支部長のあいさつで始まりました。

TKC北海道会理事会報告では、50周年記念式典には当支部より7事務所13名の出席があったこと、年度重要テーマ研修には15事務所19名の参加申し込みがあり、50%をクリアしたことを報告されました。

「北海道会で示された当面の達成すべき各目標値について、現状大変厳しいとは思いますが、支



部会員が一丸となって達成に向けて頑張っていこう!」との檄がありました。

続いて、委員会報告が行われ、中小企業支援委員会からは、10月12日(水)に旭川信用金庫とのトップ対談を行うこと、企業防衛制度推進委員会からは、7月末の支部速報で当支部が全道で1位であり、10月14日(金)に下期強化月間の研修会を行うことが報告されました。さらに、書面添付推進委員会からは10月17日(月)に書面添付シンポジ



ウムが開催されること、巡回監査・事務所経営委員会からは、現場力養成講座を支部で開催していく予定であることが、それぞれ報告されました。

引き続き、株式会社TKCからは、インボイス対応等について、大同生命保険からは新型コロナウイルス感染症におけるみなし入院の変更の説明など

が報告されました。

最後に次回の支部例会の日程の確認等を行い、支部例会が終了しました。次回の支部例会での懇親会、コロナで中止となっていた大忘年会が開催できることを切に願っています。

(旭川支部 舟橋 馨)





定期総会開催される

8月19日(金)、函館支部の第49回定期総会が、田中裕之北海道会会長、小中昌幸副会長、提携協定企業の皆さまを迎えて、開催されました。

執行部より提案された事項は、滞りなく審議承認されました。

また、定期総会後には、懇親会も開催され、恒例の参加者全員による一分間スピーチも行われました。

令和4年度においては、コロナが多少なりとも治

まり、経済活動が活発化されることを期待するほか、可能であれば移動例会を企画したいと考えております。

当日の出席率は75%でしたが、次回、節目の第50回総会においては、かつてのように100%の出席率を目指して活動をしていきたいと思っておりますので、会員各位はもとより、関係機関の皆さまにおきましてもどうぞよろしくお願いいたします。

(支部長 蛭子井 眞市)



定期総会、研修会

9月15日(木)、グランドホテルニュー王子において集合形式で定期総会を開催いたしました。

小林史郎会員の司会で、湯谷和彦支部長あいさつの後、総会成立報告があり、総会が有効に成立していることが報告されました。

議長には、湯谷支部長が選出され、議案の審議に入りました。

第1号議案 令和3年度の活動報告並びに決算報告承認に関する件

第2号議案 令和4年度予算(案)及び活動計画承認の件

上記の2議案につきましては、満場一致で承認されました。

審議終了後に、活動・情報報告(TKCセンター、大同生命、大和ハウス)のほか、本間貴久副会長より、インボイス対応準備の進捗状況等について説明があり、万全な準備が必要だと改めて痛感しました。

また、今後の支部研修会等の予定として、11月に札幌西支部と合同で事務所見学会を静岡県沼津市の「税理士法人トップ」にて開催する旨の案内がありました。

支部総会終了後、引き続き、北海道信用保証協会苫小牧支店との情報交換会が開催されました。平川浩樹支店長よりコロナ禍での信用保証の動き、TKCモニタリング情報サービス活用等の状況説明と、モニタリング情報サービスに対する高い評価もいただき、無事定期総会・研修会は終了しました。

(苫小牧支部 本野 博之)





支部例会・研修会だより

FROM ASAHIKAWA, HAKODATE, TOMAKOMAI, SAPPORO HIGASHI, SORACHI



第25回定期総会 開催

9月22日(木)、札幌東支部定期総会が、ホテルモントレーデルホフ札幌にて開催された。

同日午後開催の北海道会定期総会・政経研究会定期大会に先立ち、午前10時分より、Web参加者7名を含むハイブリッド形式で開催された。

まずは、小平康夫支部長の開会あいさつがあり、今期2期目の継続体制となるが、1期目の総括を含め支部活動についての説明がなされた。

その中で、最も傾注したのが、多くの会員の参加枠組みの施策構築であり、コロナ禍で中断を余儀なくされたが、この施策は継続して実施していくことを改めて言及した。

次に、議事進行前の総会有効成立宣言の後、議長に遠藤昭一会員を選出、議案の審議に入った。

第1号議案の「令和3年度事業報告及び決算報告」については、総務委員長により、会議・支部例会等の開催について内容報告と併せ、各委員会の活動報告・令和3年度決算報告も行われた。ここで監査報告がなされ、その後、質疑応答・採決により当該議案は、賛成多数により可決・承認された。

引き続き、第2号議案の「令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)」について審議が行われた。

まず小平支部長から、「支部活動事業計画」(案)における、(1)基本方針(2)重点施策(3)活動目

標について、詳細な説明がなされた。その中で、「活動目標」については、前年度と同様、会員コミュニケーションの活性化促進に言及した。特にグループ懇親会開催等を活動の中心に据えて、支部例会・定期総会の出席率50%超とする方針を力説した。

その後、各「委員会活動計画」(案)が、それぞれの委員長から発表された。さらに、令和4年収支予算(案)の説明があり、質疑応答後、採決となり、審議事案は、賛成多数により可決・承認された。

これにより、すべての審議は、順調裡に推移して終了した。

最後に、「北海道会報告」があり、TKC北海道会の田中裕之会長から、全国会の運動方針について報告がなされた。

もとより、「TKC方式の自計化」、「TKC方式の書面添付」、「巡回監査と経営助言」が運動の基本方針であるが、その詳細について説明がなされた。加えてその方針に基づく、当支部の現状分析も加えられ、会員は、その基準における趨勢の実態を把握することで、認識を新たにした。

こうして「北海道会報告」も終了、その後集合写真の撮影もあり、総会は定刻に終了した。

(札幌東支部 広報委員長 下坂 登)



定期総会開催

8月9日(火)、空知支部定期総会を開催いたしました。開催方法は集合とWebのハイブリッドとし、会場は滝川市のホテル三浦華園でした。

出席者は、現地参加会員5名、Web参加会員3名、来賓としてTKC北海道会から田中裕之会長、大同生命から川村正益支社長と澤森一貴課長、大和ハウス工業から竹内一峰課長、TKCから齊藤将基センター長と小竹要SCGに出席いただきました。

総会では、支部長あいさつ、来賓紹介を経て、議事に入りました。

「令和3年度事業報告及び決算報告」は、特に質疑等もなく承認されました。「令和4年度事業計

画及び収支予算案」については、近年の物価上昇や予算執行状況から事務委託費を上げてよいのではとのご意見をいただきました。これについては、次年度に上げる方向で検討するとして、事業計画および収支予算案について承認いただきました。

次に、来賓ご祝辞として、田中会長からごあいさつをいただきました。その後、各委員会報告・関連企業からの報告があり定期総会は終了しました。

コロナ第7波の最中ということで、総会後の懇親会は行わずに総会前に昼食会を開催しております。来年の総会は岩見沢で、そして懇親会も開催できればと思っております。

(空知支部 支部長 八幡 吉昭)



リスマネ情報交換会(旭川)開催される

8月10日(水)、アートホテル旭川において支部定期総会に前置する形で集合形式により開催し、会員15名、提携損保4名に出席いただきました。

冒頭、リスマネ40周年記念動画を視聴し、TKC北海道会木村聡副会長と佐々木雅敏リスマネ委員長にごあいさつをいただき、損保各社からの情報提供に入りました。

東京海上日動からは、賠償責任保険・情報漏えいの補償について、あいおいニッセイ同和損保からは、所得補償・休業補償について、損保ジャパンからは、労務トラブルによる損害賠償について説明がありました。

その後、佐々木委員長によるリスマネQ&Aを行い、
①入っていないで失敗 or 入っていてよかった保険の事例



②会計事務所が持っている資料で代理店が欲しいもの

③利益保険が日本で普及していないと言われて
いるが提案のポイントは？

などの質問を行ない、損保各社から回答をいただきました。

終わりに、TKC北海道会石川透リスマネ副委員長のあいさつで、初めてのリスマネ情報交換会が終了しました。

損保は多岐にわたるため、リスマネを推進するのが難しい面もありますが、今後の支部例会等で3社会等を開催し、会員への情報提供・情報交換ができるように進めていきたいと思いました。

(リスクマネジメント推進委員 舟橋 馨)



リスマネ情報交換会(帯広)開催される

7月25日(月)、帯広支部においてリスマネ情報交換会が、会員10名、損保会社5名の合計15名により開催されました。当初集合形式で行い、懇親会も行う予定でしたが、新型コロナウイルス拡大防止のためオンライン形式で行われました。

当日は中井宏支部長にごあいさつをいただき、また、リスマネ指導の重要性についてお話があり、その後、リスマネ40周年記念ビデオを視聴、砂原政広全国会副委員長よりリスクマネジメントの重要性、リスマネ対話ツールの利用方法等について説明をいただきました。

その後、提携三損保からリスマネ指導について

情報提供等をいただきました。

メガ三損保の情報量は圧倒的で、大変有意義な情報交換ができ、巡回監査時の経営助言としてお客さまにお伝えすべき項目が多々ありました。

自然災害が多発し、また高額な賠償事例が発生している中で、企業経営者にリスクマネジメントの重要性を啓蒙することはTKC会計人の使命であり、また企業経営者からも期待されています。今こそ、巡回監査の標準業務としてリスマネ指導を実践し、お客様の存続発展に寄与していただければと思います。

(帯広支部 砂原 政広)

リスマネ情報交換会(札幌)開催される

8月8日(月)、TKC北海道研修センターにおいて会員13名、提携損保5名出席の下、TKC北海道会リスマネ情報交換会が開催されました。

この情報交換会は、今期のリスマネ委員会のメイン施策の一つとして、全国会リスマネ委員会から全地域会での開催を要請されたもので、北海道会では7月25日(月)の帯広での開催に続き2度目の開催でした。

開催の目的は、リスマネ業務を事務所の標準業務とすべく①会員にリスマネ指導の重要性を認識していただく、②リスマネについて考える機会を作ると共にリスマネに関するさまざまな情報を提供する、③提携損保と会員の連携強化の場を設ける他、成績不振で代理店廃業の危機にある会員の再稼働や新規登録会員の早期稼働を促すきっかけ作りです。

冒頭、リスマネ委員会40周年記念動画を視聴後、TKC北海道会の田中裕之会長と佐々木雅敏リスマネ委員長のあいさつに続き、損保三社から情報提供をいただきました。

東京海上日動からは賠償責任保険・情報漏えいの補償について、あいおいニッセイ同和損保からはcmap(あいおいニッセイ同和が開発に参画した防

災・減災に役立つ無償アプリ)の説明から水災・地震・収益リスクについて、損保ジャパンからは労務トラブルによる損害賠償について、大変わかりやすい説明がありました。

その後、三損保担当者とのリスマネQ&Aを実施し、各担当者の経験に基づいたさまざまな回答をいただき、大変有意義な時間となりました。

情報交換会の後は場所を移して懇親会となりましたが、田中会長より今回のような内容はもっと多くの会員に聞いてもらった方がいいとの助言を受け、次回開催時には北海道会のイベントの一つとしてバックアップしていただくことに決めました。

税理士の4大業務の一つ「経営助言」の基本であるリスマネ指導を標準業務として定着させるべく、今期のリスマネ委員会全国会テーマは「情報発信力を高めリスマネ指導の標準業務化に積極果敢に取り組もう!」となっております。

北海道会でも全国会の方針に則り、従来より目立つ活動をしていこうと思っておりますので、会員の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(リスクマネジメント制度推進委員長
佐々木 雅敏)

2022年10月吉日

TKC北海道会
リスマネ登録事務所の皆様へ

TKC北海道会
リスクマネジメント制度推進委員会
委員長 佐々木雅敏

第9回リスマネキャンペーンのご案内

平素より、リスマネ委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。
すべての企業にとってリスク管理の重要性はより一層高まっています。リスクマネジメント指導を事務所の標準業務とするべく積極的な取り組みをお願いいたします。
今年も全国でリスマネキャンペーンが実施されています。巡回監査を通じ関与先企業に損害保険に関する指導を推進する絶好の機会ですので、担当損保と連携した推進をお願いいたします。事務所表彰制度もございますので入賞を目指していただきますようご案内申し上げます。

《キャンペーン内容》



《リスク君》

1. 期間:2022年10月1日~2023年1月末
2. 対象:自賠償保険を除く損害保険一般種目の新規契約全般
※対象種目は、「全国商工会議所ビジネス総合保険制度」の他、自動車保険、火災保険、利益保険、各種賠償責任保険、労災上乗せ保険(安心プロテクト・タフビス業務災害補償・ビジネスマスター)、等々。
関与先のニーズにマッチした保険指導を実践しましょう!
3. 北海道会の保険料目標(新規)27,000千円
4. 地域会表彰:
①目標達成のうち達成率上位3地域会を表彰
②新規稼働率(新規稼働事務所/2022年度目標登録事務所数)の上位3地域会を表彰
5. 事務所表彰:
新規契約保険料 300万円以上の事務所を表彰

※損保代理店未登録の会員先生は、まず代理店登録をしてキャンペーンに参加しましょう!
以上

TKC北海道会 リスクマネジメント制度推進委員会

今期よりTKC全国会バッジ会員の達成目標の一つに「リスマネ代理店登録をしていること」が加わっております。代理店登録がまだの会員先生は、まず代理店登録をしてキャンペーンに参加しましょう!

TKC北海道会リスマネ指導報告書 提出キャンペーン ~リスマネ対話ツールを活用しよう~

期間

R4.10.3~
R5.1.31



内容

「リスマネ対話ツール」を利用して関与先にリスマネの説明・証券回収(リスマネ指導報告書のステップ①まで)を行い、「リスマネ対話ツール」の中にあるリスマネ指導報告書の写しを提出していただくとAmazonギフト券を進呈



- ①添付の「リスマネ対話ツール」のリスマネ指導報告書の関与先企業名を塗りつぶして北海道会事務局にFAXまたはメール(PDF)で提出すると、1,000円/件Amazonギフト券贈呈(先着100件まで)
- ②期間中10件以上提出した事務所には10,000円のAmazonギフト券贈呈

E-mail:hokkaidokai@tkcnf.or.jp

お問い合わせ

TKC北海道会リスクマネジメント制度推進委員会

TEL:011-222-8505 FAX:011-222-8622

令和4年 書面添付実践件数 (令和4年9月末現在)

令和4年 書面添付実践件数 (令和4年9月末現在)

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
1	札幌東支部	五十嵐勝義	98	4	8	2	7	18	7	8	8	7	69
2		市川 善明	45	1	13	2	2	13	2	4	2	4	43
3		岩崎 新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4		岩田 圭史	29	0	7	3	3	4	1	2	3	3	26
5		岩本 敏美	30	0	4	1	1	6	3	3	4	2	24
6		大林 慎一	4	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
7		能登 康広	9	0	1	0	1	0	2	0	1	1	6
8		加藤恵一郎	215	4	36	42	25	37	16	5	13	12	190
9		金子 雅行	8	0	1	0	1	1	1	1	0	2	7
10		金坂 和正	14	0	2	3	0	2	1	1	3	0	12
11		川股 修二	163	8	17	10	21	20	11	17	15	10	129
12		小平 康夫	47	0	3	3	3	10	4	2	4	4	33
13		斎藤 雅昭	11	0	1	0	0	5	2	0	1	0	9
14		坂本 文彦	7	0	2	0	0	4	0	0	1	1	8
15		佐々木忠則	232	7	24	54	19	39	21	13	17	11	205
16		佐々木俊幸	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17		佐々木幸徳	39	0	2	1	6	11	0	4	1	2	27
18		佐藤 俊一	14	0	3	1	0	2	0	1	2	1	10
19		佐藤 伸泰	66	1	7	15	3	18	4	5	4	0	57
20		下坂 登	7	0	2	2	0	2	0	0	0	0	6
21		清宮 純	83	1	9	7	7	16	7	4	6	4	61
22		高野 真人	7	0	1	0	0	1	1	2	2	0	7
23		田中 慎也	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	3
24		谷口 和雅	21	1	2	4	0	6	3	2	3	0	21
25		千葉 寛樹	92	4	19	13	3	20	4	3	5	6	77
26		出口 秀樹	53	3	4	4	7	14	1	5	4	5	47
27		寺田 勉	80	1	10	17	6	13	8	2	1	8	66
28		中川 一俊	53	0	10	5	7	16	1	1	5	1	46
29		中川 信喜	60	3	6	11	3	8	5	5	3	4	48
30		中田 浩貴	33	1	2	3	2	3	1	1	6	3	22
31		名越 隆雄	3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
32		原 幸四郎	58	1	1	9	3	10	1	3	2	2	32
33		藤谷 満雄	18	0	1	1	1	3	2	0	2	1	11
34		藤田 時人	66	3	4	9	7	9	8	1	9	3	53
35		藤本 康男	7	0	1	1	0	1	0	1	1	0	5
36		本間 貴久	157	2	21	16	14	31	6	7	9	12	118
37		本間 崇	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
38		松本 隆臣	75	3	7	8	2	14	6	1	7	4	52
39		丸山 昭一	30	1	5	1	3	6	2	2	1	1	22
40		南 優香	38	3	7	2	3	7	1	3	4	1	31

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
41	札幌東支部	宮下 直樹	149	6	40	41	10	26	7	12	11	9	162
42		宮本 信	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
43		森下 浩	18	0	3	4	2	1	0	1	0	1	12
44		山美 幹生	35	1	4	6	3	13	1	3	3	2	36
45		横山 知明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46		吉川 直宏	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
47		米澤 篤志	9	0	0	1	1	5	0	1	3	3	14
48		阿部 真澄	53	0	1	0	1	11	4	4	4	9	34
49		池脇 竜太	98	1	9	14	8	15	9	5	5	10	76
50		石川 透	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
51	札幌西支部	國分 敬祐	5	1	1	0	0	2	0	0	1	0	5
52		伊東 幹世	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
53		上原 貢	13	0	1	2	2	1	2	1	2	1	12
54		遠藤 成紀	204	6	29	26	12	38	15	16	17	7	166
55		大沼 宏	6	0	0	0	1	6	0	0	0	0	7
56		岡崎 克明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57		岡崎 正毅	11	0	0	6	0	0	0	1	1	0	8
58		小川 裕也	15	1	2	2	1	4	0	1	0	1	12
59		川端 忠範	14	0	1	0	1	4	2	0	0	1	9
60		小中 昌幸	62	1	6	6	3	12	7	3	6	11	55
61	札幌西支部	小林 康弘	19	0	1	2	3	5	1	1	1	2	16
62		近藤 勝美	5	0	1	0	0	0	0	2	0	1	4
63		杉村 弘幸	14	0	0	2	2	3	0	0	2	0	9
64		鈴江 誠	42	1	5	7	6	11	3	1	7	2	43
65		高野 一夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66		竹中 正美	34	1	10	3	1	11	1	2	7	3	39
67		田中 裕之	149	1	16	17	10	46	4	8	13	13	128
68		藤堂 愛子	0	0	1	0	0	1	0	0	2	1	5
69		中川 雄介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70		長田 幸雄	18	0	3	0	0	4	1	2	1	1	12
71	札幌西支部	西野尾嘉拓	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
72		八森 恵一	8	0	0	0	0	2	1	0	1	0	4
73		平田 清悦	32	0	8	6	1	4	1	1	3	1	25
74		堀内鶴次郎	21	0	4	0	1	5	1	1	1	2	15
75		三上 香織	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
76		村西 逸郎	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
77		森下 敏美	13	0	2	3	0	3	0	3	0	0	11
78		柳橋 琢磨	7	2	3	1	0	2	0	0	1	1	10
79		八島 依子	23	0	3	3	0	6	3	0	1	3	19
80		山田めぐみ	8	1	2	1	0	1	0	0	0	0	5

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
81	札幌西支部	山谷 謙太	261	7	24	29	27	66	19	26	23	16	237
82		吉田 淳	4	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3
83	小樽支部	足立 竹秀	13	0	1	1	0	3	0	0	2	1	8
84		澤田 忠宏	54	5	9	3	2	8	6	5	6	2	46
85		戸井 三雄	73	0	8	8	1	22	8	2	5	6	60
86		西 正則	13	0	1	1	1	4	1	1	0	2	11
87	函館支部	奥山 昌弘	23	0	2	4	2	1	2	3	1	1	16
88		鎌田 直善	41	4	4	6	4	8	1	4	2	3	36
89		後閑 慶	8	0	2	0	0	1	0	1	1	1	6
90		千田 浩文	6	0	0	0	0	3	0	1	0	2	6
91		西谷 裕幸	23	0	0	0	1	0	0	2	0	1	4
92		田村 維之	0	0	1	2	0	2	1	0	0	0	6
93		蛭子井眞市	33	2	1	0	4	9	1	3	6	2	28
94		細川 拓厚	35	1	4	6	2	11	4	0	4	2	34
95		松山 高治	17	1	5	1	3	1	1	2	2	1	17
96		大林 強	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
97	空知支部	木村 聡	80	2	13	3	4	28	3	5	9	3	70
98		斎藤恵美子	40	0	5	3	3	11	4	5	2	2	35
99		坂本 和繁	152	4	34	18	5	35	10	13	7	3	129
100		鳴海 敏郎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
101		八幡 吉昭	23	0	5	4	1	5	2	1	1	3	22
102		山田 和訓	92	5	18	13	7	19	3	3	6	10	84
103	旭川支部	薄井タカ子	25	1	3	8	0	5	1	1	2	0	21
104		尾田 利雄	60	1	13	3	3	15	3	6	5	3	52
105		加藤 一博	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
106		金谷 博光	127	2	28	14	13	30	11	2	11	3	114
107		熊谷 益夫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
108		小島 拓也	6	0	1	0	1	0	2	0	0	0	4
109		佐藤 弘道	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
110		高橋 慎吾	95	3	18	7	5	22	6	7	7	5	80
111		舟橋 馨	3	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
112		渡辺 祐吉	63	0	5	6	5	19	4	5	4	2	50
113	稚内支部	蝦名 朗太	4	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2
114		田村 栄章	38	3	12	1	0	14	4	1	2	1	38
115		松井 眞実	13	0	0	2	2	5	1	1	0	1	12
116	北見支部	柴田 浩嗣	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
117		井山 等	19	0	6	1	4	4	0	1	1	0	17
118		菅原 雅之	4	1	0	0	0	1	0	1	0	0	3
119		中島 茂幸	3	0	0	1	0	2	1	0	0	0	4
120	南都 正弘	10	2	1	0	1	3	0	1	1	0	9	

列	支部名	会員氏名 【敬称略】	令和3年実績	令和4年実績									
				1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
121	北見支部	渡邊 直喜	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
122		井上 理	10	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
123	帯広支部	河合 敏	178	3	27	16	9	45	11	11	13	5	140
124		梅田 勇	113	1	19	11	9	26	7	9	7	6	95
125		白岩 征之	125	2	12	7	8	31	4	7	14		

私の最近の動向と趣味について



苫小牧支部 小林 史郎 Shiro Kobayashi

苫小牧支部の小林史郎です。入会してから約7年になります。

私の大好きなことは、皆さんもご存じの通り、皆さんと美味しい料理とお酒を飲むことです。それに加えて、ここ数年は、北海道日本ハムファイターズの試合を観戦することが、大好きになりました。2、3年前から観戦数も徐々に増え、今年は現在まで約10試合くらい観戦しています。

その観戦の友は、私の呑み友達である専門学校の先輩です。その先輩とは観戦中に呑み、そして、試合後もすすきのでも呑みと、とても楽しい時間を過ごしている仲間であります。そんな先輩ですが、観戦中には解説を受け、野球知識を増やす一方、税理士事務所経験豊富なその方に事務所経営についてのアドバイスを受けていております。

ところで、ここ数年、北海道日本ハムファイターズも少しずつ北海道出身の選手も増えてきました。現在、投手5人、野手3人で、その中でも昨年度10勝をあげた伊藤大海投手は、有名で、今となっては上沢投手、加藤投手と並ぶ3本柱であります。

それから打者の一番の注目は、自身も北海道日本ハムファイターズのファンクラブにも入会している今川優馬(いまがわゆうま)外野手です。今年は出場機会も多く、開幕当初より正確なバッティング技術に磨きがかかってきたと思います。今後についても、伸びしろがなくて、来年以降も期待の外野手の一人です。

投手での一番の注目は、私の職場がある苫小牧の苫小牧中央高校卒業であり白老町出身の根本悠楓(ねもとはるか)投手です。今年で3年目、今季はプロ初勝利を交流戦の読売ジャイアンツ相手に勝ち取っております。現在でも2勝目をあげており、伸びしろがどこまであるか、とても期待できる投手です。

そんな伸びしろだらけのファイターズですが、今年は、残念ながら順位もあまり芳しくはありません。とはいえ、指揮官はわれらのビックボスこと新庄剛志監督です。試合中は奇抜な戦略を立てていますので、試合自体はとても楽しいものが多いと思います。しかしながら、この原稿が完成しているころには、最下位が決定しているかもしれません。でも、来年に期待です!

あっ、唐突ですが「ゴルフはじめました」。昨年の8月頃から始めました。『かいほう』の前号に登場した苫小牧支部の湯谷和彦支部長と同じレッスンプロの先生に習いながら練習を行っております。しかしながら、スコアの方は最高141であり、まだまだ、練習が必要のようです。あまりにも上達しないので、ついに今年の8月に練習用ネットを購入して、日々練習に励んでいるところです。来年の今頃には、余裕のある状態でコースに出たいと思います。

仕事とお酒、野球観戦、ゴルフにいそむ苫小牧支部の小林史郎でした。

令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿が掲載されています

9月20日(火)付のProFIT EXPRESSでご案内のとおり令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿が掲載されています。北海道会では158名の会員へ全国会バッジの貸与が行われ、今年度からの新規貸与者は11名となっております。新たに貸与された会員の皆さまにおかれましては誠にありがとうございます。しかしながら、北海道会全体で考えますと昨年度より若干増加はしましたが貸与割合35.1%(昨年度34.9%)とまだまだ少ない状況が続いております。

TKC全国会バッジの制度は、その目的を「TKC全国会の活動が社会全体から認知・評価される中

で、会員間の格差が生じてきたことは当面する大きな課題のひとつである。このような状況を鑑み、TKC全国会の理念及び政策目標を積極的に実践している会員に対して『TKC全国会バッジ』を貸与してこれを顕彰し、併せてこの基準に到達していない会員を啓蒙し、会員全体のレベルアップを図ることを目的とする」としています。

また、来年度よりTKC全国会バッジ貸与条件が変更され以下の通りとなっており、令和5年6月末実績での判定については新貸与要件にて行われることとなります。

「TKC全国会バッジ」貸与規定

1. TKC全国会バッジ貸与認定基準日:毎年6月末日締め(前年7月1日~当年6月末日)
2. 新規認定要件
第2条(「TKC全国会バッジ」の貸与)
TKCシステムを徹底活用している会員のうち、以下の条件を満たした場合「TKC全国会バッジ」を貸与する。
(1) 財務処理件数30件以上を有し、継続MAS、FXシリーズ、TKC方式の書面添付を実践していること
(2) TKCモニタリング情報サービス(MIS)を実践していること
(3) 生涯研修受講済み事務所であること
(4) 経営革新等支援機関の認定を受けていること

先日開催されたTKC北海道会第50回定期総会において、田中裕之TKC北海道会会長から示された令和4年度事業計画では、基本方針・重点施策の一文の中で「TKC会計人の証であるバッジ会員の増加を目指す」と掲げられました。

TKC会計人が実践している業務を、社会に正しく理解してもらう土壌を作るためにも、TKC全国会

バッジ貸与者の割合が増えることは非常に重要なことだと考えます。

ぜひ、その趣旨をご理解いただき、TKC全国会バッジ貸与者の会員はその維持を、未貸与者の会員は貸与要件を満たす活動を行っていただくことを切に願います。

(総務委員長 宮下 直樹)

令和4年9月20日

TKC会員 各位

TKC全国会
総務委員会
委員長 西村 剛

令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿を ProFITに掲載しました。

令和4年「TKC全国会バッジ」貸与会員が確定し、貸与規定に従いProFITに掲載しましたのでご案内いたします。なお、本年度の認定が旧基準による最後の認定となります。次回から4.に記載する基準に変更となりますので、ご確認のほどよろしくお願いいたします。

1. 「TKC全国会バッジ」貸与者名簿掲載場所

ProFIT「TKC全国会重要テーマ」-「全国会重点活動テーマ」-「貴事務所のKPI」
-「表彰地域会・表彰会員一覧表」



2. 本年の貸与会員数

4,079名（新規502名、継続3,577名）
（昨年3,859名〔新規278名、継続3,581名〕）

3. TKC全国会バッジについて

TKC全国会バッジは、第95回全国会理事会（平成18年5月25日開催）において承認された制度で、その目的を「TKC全国会の活動が社会全体から認知・評価される中で、会員間の格差が生じてきたことは当面する大きな課題のひとつである。このような状況を鑑み、TKC全国会の理念及び政策目標を積極的に実践している会員に対して「TKC全国会バッジ」を貸与してこれを顕彰し、併せてこの基準に到達していない会員を啓蒙し、会員全体のレベルアップを図ることを目的とする。」としています。（第95回全国会理事会議案書より）

4. 令和5年TKC全国会バッジ貸与条件の変更について【重要】

令和5年6月末実績で判定を行う、令和5年TKC全国会バッジの貸与条件が第143回TKC全国会理事会（R4.6.17開催）でご報告のとおり、変更となりました。

(1) 全国会バッジの貸与条件を次のとおりとします。

（「TKC全国会バッジ」の貸与）

第2条 TKCシステムを徹底活用している会員のうち、以下の条件を満たした場合「TKC全国会バッジ」を貸与する。

旧貸与条件（～R4.6.30まで）	新貸与条件（R4.7.1から）
(1) 財務マスター30件以上を有し、KFSをすべて実践していること	(1) 財務処理件数30件以上を有し、継続MAS、FXシリーズ、TKC方式の書面添付を実践していること
(2) OMSを利用していること	(2) TKCモニタリング情報サービス(MIS)を実践していること
(3) 生涯研修受講済み事務所であること	(3) 生涯研修受講済み事務所であること
	(4) 経営革新等支援機関の認定を受けていること

5. TKC全国会バッジ貸与対象者に対する達成目標（努力目標）の変更

TKC全国会バッジ貸与規定では、第2条第3項「貸与対象者に対する達成目標」において、貸与対象者は所定の項目を達成することを貸与時に確認することとしています。

また、今回改定にあたっては、入会3年目のあるべき会員像をモデルとして検討しています。

(1) 貸与対象者に対する達成目標（努力目標）を次のとおりとします。

第2条第3項 貸与対象者は以下の（1）から（7）までの項目を達成することを貸与時に確認する。

旧達成目標（～R4.6.30まで）	新達成目標（R4.7.1から）
(1) 翌月巡回監査率70%以上であること	(1) 翌月巡回監査率 80%以上 であること
(2) 企業防衛保有3億円以上であること	(2) 企業防衛保有3億円以上であること
(3) 経営革新等支援機関の認定を受けていること	(3) リスマネ代理店登録 をしていること
(4) 「中小会計要領」または「中小会計指針」に準拠した決算書を作成していること	(4) 経営革新等支援機関の 業務を実践 していること
	(5) 三共済（小規模企業共済、経営セーフティ共済（中小企業倒産防止共済）、中小企業退職金共済）のいずれかを実践 していること
	(6) 「中小会計要領」または「中小会計指針」に準拠した決算書を作成していること
	(7) 地域会、支部活動に参画 すること

【補足事項】

- ①財務処理件数：直近15か月以内に財務処理または月次更新処理を行った関与先数（ただし、仕訳数0の財務処理または月次更新処理はカウントしない）
※財務三表、個人財務、業種別会計含む
- ②継続MAS件数：継続MASによる残高受信を1件とする。
- ③FXシリーズ：事務所用、法人、個人、業種別を含む。
- ④書面添付の計上基準：TKC方式の書面添付の件数とする。（財務処理連動）
- ⑤認定支援機関の判定：PROFITで報告していること（支援機関登録、実践報告）
- ⑥第2条第3項の「貸与対象者に対する達成目標」は入会3年目のあるべき会員像をモデルとした。

以上

令和4年「TKC全国会バッジ」貸与者名簿

TKC全国会 4,079名(内、法人社員型・Ⅲ型会員 1,291名)
(参考:[登録会員 11,500名][昨年貸与 3,859名])

令和4年6月末日

北海道会 158名(内、法人社員型・Ⅲ型会員 46名)
(参考:[登録会員 450名][昨年貸与 153名])

(五十音順 / 敬称略) (★印は新規貸与会員)

1 田中 裕之	24 加藤恵一郎	47 青木 孝志★	70 伊藤 芳一	93 薄井タカ子
2 池脇 竜太	25 石田 政士	48 市川 善明	71 上原 貢	94 岡崎 正毅
3 井山 等	26 岩田 圭史	49 岩本 敏美	72 大平 涉	95 金谷 博光
4 蝦名 朗太★	27 遠藤 成紀	50 大舘 政男★	73 金坂 和正	96 神田 将吾
5 小川 裕也	28 奥山 昌弘	51 尾田 利雄	74 川股 修二	97 小島 拓也
6 金子 雅之	29 川井 一男	52 河合 敏	75 後閑 慶子	98 近藤 康範
7 木村 聡	30 来海 有起	53 甲賀 伸彦	76 駒井 桂伺	99 佐々木俊幸
8 小関 健三	31 小平 康夫	54 小中 昌幸	77 佐々木忠則	100 佐藤 敏明★
9 斎藤恵美子	32 坂本 和繁	55 坂本 文彦	78 佐藤 孝尚★	101 東海林直彰
10 佐々木雅敏	33 佐藤 俊一	56 佐藤 信祐	79 澤田 忠宏	102 清宮 純
11 佐藤 伸泰	34 佐藤 博嗣★	57 實吉 孝範	80 砂原 政広	103 田村 栄章
12 白岩 征之	35 鈴江 誠	58 鈴木 圭介	81 谷本 倍規	104 戸井 三雄
13 高橋 慎吾	36 竹川 博之	59 谷口 和雅	82 戸井 敏夫	105 中島 茂幸
14 千葉 寛樹	37 寺田 勉	60 照井 直樹	83 中川 信喜	106 西 正則
15 東城 敬貴	38 中井 宏	61 中川 一俊	84 西原 昇一	107 八森 恵一
16 長田 栄吾	39 中田 浩貴	62 南都 正弘	85 能登 康広	108 舟橋 馨★
17 西 康子★	40 西谷 裕幸	63 能任 利明	86 藤田 時人	109 松井 克彦
18 原 幸四郎	41 平田 清悦	64 蛭子井真市	87 牧野 秀美	110 三上 香織
19 干場 慎也	42 細川 拓厚	65 本間 貴久	88 丸山 昭一★	111 柳川 英樹
20 松井 眞実	43 松田 孝志	66 松本 隆臣	89 八島 依子	112 湯谷 和彦
21 南 優香	44 宮下 直樹	67 森下 敏美	90 山谷 謙太	
22 八幡 吉昭	45 山田 和訓	68 山美 幹生	91 五十嵐勝義	
23 渡邊 直喜	46 渡辺 祐吉	69 荒井 利幸	92 猪股 冬樹	

法人社員型・Ⅲ型

113 青柳 順也	123 荒井 皓介	133 上嶋 亨	143 菅野 浩	153 佐藤 達徳★
114 伊藤 貴雄	124 岩下 誠	134 河村 聡子	144 佐々木俊彦	154 武石 和昌
115 金坂 肇	125 河合 淳	135 坂本 雅明	145 鈴木 裕章	155 田村 大助
116 坂本 健人	126 坂本 武	136 清水 啓雅	146 谷本 諒★	156 中浦 孝一
117 佐藤 理映	127 島田 康弘	137 谷 勲	147 戸田 悠子	157 南 昇
118 田島 康雅	128 田中 祥孝	138 徳山 朗	148 福田 雄基	158 吉田 幸広
119 寺田 純子	129 當眞 嗣隆	139 西木戸恒彦	149 吉田 知加	
120 中野 研	130 中村 宗睦	140 山美 太生	150 伊藤 悟★	
121 森畑 哲也	131 矢野 孝志	141 池田 章悟★	151 大川 努★	
122 米田 明広	132 飯田 淑実	142 上村 剛	152 久々津悦子	

北海道の皆様ありがとうございました。 そしてこれからもよろしくお願ひします!

企業情報営業本部 加藤 竜司

北海道会の先生方、職員の皆さま、大変ご無沙汰しております。私は2005年4月から2008年9月まで北海道センター、2008年10月から2009年9月まで帯広センター、2009年10月から2015年9月まで再び北海道センターで勤務し、神奈川出身の私が実に10年もの間、北海道で過ごさせていただきました。

在任中は皆さまに大変お世話になり、仕事だけでなくゴルフやすずきの等もご一緒させていただき、北海道を満喫させていただきました。おかげさまでお金は貯まりませんでしたが、楽しい思い出がいっぱい貯まりました。

そんな私も、初めて北海道に着任した当時はまだ30代と若かったのですが、今は50を過ぎ、すっかりおじさんになりました。相変わらず独身を謳歌？しており、今は保護した猫3匹と暮らしています。猫との生活もなかなか楽しいですが、話しかけても「ニャー」しか言わないので会話にならないのが少し物足りないところ です。



北海道センターを異動になった後は、4年間群馬センターで勤務し、その後は東京本社の海外ビジネスモニター営業部に配属となりました。

皆さまは「海外ビジネスモニター」というシステムをご存知でしょうか。国内企業の海外子会社が利用している、会計ソフトのデータを日本語で「見える化」するクラウドシステムです。現在約300社の企業グループに導入いただいております。約1,300社の海外子会社のデータが当システムで管理されています。先生方の関与先さまで、海外子会社の業績管理等で苦労されている企業がありましたら、ぜひご相談ください。

さらに、本年10月より企業情報営業本部の中の、会計システム営業部に異動となり、「海外ビジネスモニター」に加え、連結会計システム「eCA-DRIVER」を担当させていただくことになりました。皆さまにご指導いただきながら、新たな業務に取り組んでまいりますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

帰ってきた

札幌西支部 山谷 謙太

第28回

けんたの業務日誌



9月28日(水)、札幌西支部定期総会が無事終わりました。支部長6年目となりました。議案の承認ありがとうございました。

その後の支部研修では佐々木忠則会員(札幌東支部)に『書面添付と事務所経営』ということでお話しいただきました。一部レジュメより

書面添付は誰のために

- ・関与先を立派な社会人に
- ・関与先を通して、仕事を通して、自己の探求
- ・色んな社長がいた、そして教わった、だから恩返し、後で分かる
- ・関与先の信用価値、そして、あなたの信用価値

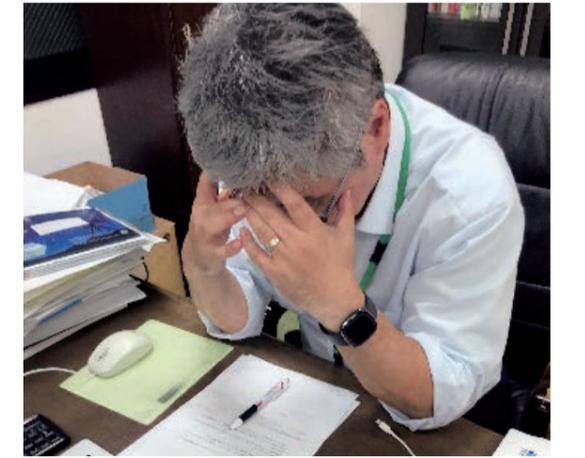
事務所経営

- ・成功者の3要件
 - ①素直 ②プラス発想 ③勉強好き
 - by船井幸雄
- ・成果
 - ①考え方 ②熱意 ③能力
 - by稲盛和夫

などなど深く、とてもためになる話でした。途中から佐々木忠則和尚のお話を聞いている気持ちになりました。この研修は、年会費(12,000円)の何倍も価値がある研修でした。



【追伸1】せっかくの素晴らしい研修だったのにもっと多くの会員に参加して欲しいと頭を抱える山谷。



【追伸2】年会費(12,000円)相当の価値のある懇親会の一部。





TKC北海道会事務局

杉若 敦巳
Atsumi Sugiwaka

前日の15時から委員会が5つ同時に開催、その委員会終了後、今度は前夜祭を9店舗で同時開催。各委員会の資料を印刷し、封筒に詰め、名札や旅費をそれぞれ作成

する。「時間が足りな〜い」と泣き言を言う時間も足りない中、準備不足のまま皆さまにご迷惑をおかけしながら全てがスタートしました。

当日の午前中は、委員会が7つと50周年実行委員会と50周年記念行事の準備。記念行事の受付の次は式典、次は講演会、次は感謝の夕べ、次は二次会と、それぞれのギリギリな準備でバタバタと走り回っており、事務局だけでは全く間に合わないところでしたが、お手伝いいただいた会員先生、大同生命の皆さま、株式会社TKCの皆さまのおかげで、素晴らしい50周年記念行事を開催することができました。

ここからは杉若の私事となりますが、感謝の夕べでは宮下直樹総務委員長より、事務局永年勤続表彰(?)として花束と感謝の言葉をいただきました。まさか舞台の上に呼ばれるとは思わず、とてつもない緊張の中、舞台上に上がらせていただきました。このほんの数分がこの数日の中で一番長かったです。

今まで勤務できたのも、優しい税理士先生方、提携協定企業の皆さま、株式会社TKCの皆さま、いつも楽しく仕事をさせてくれた歴代の千葉静子元局長、故稲垣英樹元局長、吉田正前局長、そして前田稔局長と尾崎愛さんのおかげです。本当にありがとうございます。感謝の夕べでは感謝の気持ちをお伝えする時間がなかったため、こちらでお伝えさせていただきます。

今後ともTKC北海道会事務局を、何卒よろしく願いいたします。

北海道会 会務動向

令和	月	日	行事名
4	9	6	正副会長会
4	9	7	支部長会議
4	9	7	北海道研修所会議
4	9	7	企業防衛制度推進委員会
4	9	7	巡回監査・事務所経営委員会
4	9	7	ニューメンバーズ・サービス委員会
4	9	8	システム委員会
4	9	8	リスクマネジメント制度推進委員会
4	9	8	書面添付推進委員会
4	9	8	広報委員会
4	9	8	中小企業支援委員会
4	9	8	共済制度等推進委員会
4	9	8	タックスフォーラム会議
4	9	8	TKC北海道会創設50周年記念式典
4	9	22	第50回定期総会
4	10	7	企業防衛マスターズ会
4	10	11	ニューメンバーズフォローセミナー
4	10	13	広報編集会議
4	10	17	書面添付シンポジウム
4	10	26	広報委員会
4	10	27	正副会長会
4	10	27	理事会
4	10	28	共済制度等推進委員会

令和4年10月 株式会社TKCの支援体制

TKC北海道会と会員事務所を全力でご支援します!

北日本統括センター長

統括センター長 **新**
喜藤 晋司

北海道SCGサービスセンター



帯広SCGサービスセンター(帯広・釧路支部担当)



旭川SCGサービスセンター(旭川・空知・北見・稚内支部担当)



北日本統括センター



北海道統合情報センター



北海道会事務局



過去の『かいほう』が読めます。(214~246号)

「TKC北海道会」と検索するか、表紙または右のQRコードからアクセスしてください。
(広報委員会)



編集後記

羊ヶ丘のふもとから〇〇を叫ぶー編集後記に代えてー

editor's note

感謝しかない。広報委員長になって、翌年からコロナ禍になり、委員会の活動も制限され、行事もぱったりなくなった。載せる記事がない。そんな中でも、困っているだろうと寄稿してくれた会員がいたこと、カレーの連載も花を添えた。強引にそのときどきのトピックに合わせ依頼した原稿に嫌な顔一つせず(対面ではないので嫌な声かな)引き受けてくれた会員がいたこと。本当に感謝しかない。本来の姿にはまだまだかもしれないが、皆さん、今号は40ページを超えました。本当に感謝しかない。

ありがたいことに忙しい。紹介による関与先が多い中、ホームページと事前確認機関の合わせ技の新規があった。廃業する税理士の代わりを探すために、事前確認機関の一覧の中でホームページのある税理士ということでなぜか選ばれた。面談をした。やはり記帳代行だった。さて、いかに自計化に持っていか。経理の人がいるので、会計の業務フローを作成し、提示してみた。そうしたら、「原価管理をしてみたかった」「請求書の発行はエクセルで自動化してある」「業務量はなるべく増やしたくない」と。これらの要望を踏まえ、どこにどうパズルをはめたらうまくいくのか。最初が肝心。思案のしどころである。

(広報委員長 坂本 文彦)